



登り藤

令和7年7月12日
道徳授業地区公開講座臨時号
江戸川区立南葛西第二中学校

道徳授業地区公開講座にご来校いただき、ありがとうございます

江戸川区立南葛西第二中学校校長 古澤 浩一

南葛西第二中学校の令和7年度道徳授業地区公開講座にあたり、ご多用の中、ご来校いただき、誠にありがとうございます。

1 「道徳授業地区公開講座」とは

東京都教育委員会では「道徳授業地区公開講座」の趣旨として、以下の点を示しています。

- 学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育を推進する。
- 道徳科の授業を活性化するとともに、質の向上を図る。
- 道徳科の授業を公開することにより、開かれた学校教育を推進する。

本日、本校の道徳授業の取組の一端に触れていただいたことを、ご家庭でお子様と話しあっていただいたり、日頃の生活の中でできていることを認めたりする際に生かしていただけますと幸いです。なお、右のQRコードからは「小・中学校用指導資料『子供たちの規範意識を育むために』」等の参考資料へのリンクがあります。必要に応じてご活用ください。



道徳教育

2 「特別の教科 道徳」について

中学校学習指導要領では『「特別の教科である道徳（以下「道徳科」）を要として学校の教育活動全体を通じて行うものであり、道徳科はもとより、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、生徒の発達の段階を考慮して、適切な指導を行うこと。』とされています。

道徳科では「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」ことが目標とされています。



学習指導要領解説

年間35時間の道徳科の授業の中で以下のとおり示された22項目を取り扱うこととなっています。多様な教材を用いて、さまざまなことがらや場面を、多面的・多角的に学ぶこととなります。

- A 主として自分自身に関すること
【自主、自律、自由と責任】【節度、節制】【向上心、個性の伸長】【希望と勇気、克己と強い意志】
【真理の探究、創造】
- B 主として人との関わりに関すること
【思いやり、感謝】【礼儀】【友情、信頼】【相互理解、寛容】
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
【遵法精神、公德心】【公正、公平、社会正義】【社会参画、公共の精神】【勤労】【家族愛、家庭生活の充実】
【よりよい学校生活、集団生活の充実】【郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】
【我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】【国際理解、国際貢献】
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
【生命の尊さ】【自然愛護】【感動、畏敬の念】【よりよく生きる喜び】

本校では、道徳教育全体計画のもと、担当教員がローテーション体制をとり、道徳科の指導にあたっています。各学年の重点内容項目は以下のとおりです。

- (第1学年) A-(2)【節度、節制】 B-(6)【思いやり、感謝】 B-(7)【礼儀】 B-(9)【相互理解、寛容】
C-(11)【公正、公平、社会正義】 D-(19)【生命の尊さ】

- (第2学年) A-(3)【節度、節制】 B-(8)【友情、信頼】 B-(9)【相互理解、寛容】 C-(11)【公正、公平、社会正義】 C-(15)【よりよい学校生活、集団生活の充実】 D-(19)【生命の尊さ】
- (第3学年) A-(4)【希望と勇気、克己と強い意志】 B-(9)【相互理解、寛容】 C-(11)【公正、公平、社会正義】 C-(13)【勤労】 D-(19)【生命の尊さ】 D-(22)【よりよく生きる喜び】

3 「特別の教科 道徳」の授業で期待されていること

かつての「道徳」の授業では「読み物教材の登場人物の心情理解」や「分かりきったことを言わせたり書かせたりする指導」と思われることもありました。また、単に「求められる答（期待される言動・いわゆる「正答」と思われる答）」を問うたり、答えたりすることに終始する授業も少なくありませんでした。

これからの時代の道徳の学びに求められているのは、学んだことを行動に移し、実践していく力を身につけることです。「取り扱われる内容」それぞれを社会の中で実践する力の育成や、「いじめ」「SNSでのトラブル」などの未然防止や解決策のひとつとして道徳の授業が期待されているのもそのためです。

「あなたならどうするか」を真正面から問う、「考え、議論する道徳への転換」が大切です。「令和の日本型学校教育」として「誰一人取り残すことのない持続可能な社会の創り手の育成」のため、ICTを活用し、協働的な学びを通じ、個別・最適な学びを実現することが道徳科にも大きく期待されています。

そのため、道徳科は「一人で考えるのではなく、多くの人とその意見を交わすこと」が大事です。『考える道徳・議論する道徳』の重要性がますます高まっています。意見の対立や共有、多面的・多角的な考えを通しての学びがますます大切になってきます。

本日の各学級での取組だけでなく、本校では年間を通じて教科書を主教材として、多様な題材や教具等を用いて授業をすすめております。

4 おわりに

道徳科にとどまらず、家庭・地域・学校が一体となって、地域の子どもたちに豊かな心を育てていくことは不可欠です。そして、学校での道徳の学びがご家庭や地域での生徒の行動に生き、生涯にわたる規範意識や優れた言動、活躍に結び付いていくことを願っています。

引き続き、生徒にとって有意義な活躍の場、実践の場のひとつとなるよう、学校としても意図的・計画的に道徳教育に取り組んでまいります。

あわせて、最も身近な存在である大人が生徒に対してどのように手本を見せていくかも問われてきます。ぜひ、ご家庭でもお子様と「対話し、考える」機会（SNSの使い方、家庭でのルール、世の中で起きているできごと等）を通じ、学びを深めていただけますと幸いです。

現在、「地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み」として、広く地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動が求められています。

道徳の学習はその中核を担うもののひとつであり、地域で活躍する生徒を育む上でますます重要性を増していきます。皆様方のご理解・ご協力がその効果をいっそう高めます。

今後とも、江戸川区立南葛西第二中学校の実践・生徒の活躍に対しまして、ご支援・ご鞭撻をいただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）

- ◎ 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。
- ◎ 従来の地域団体だけではなく、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。

